

40kHz
60kHz 両局対応

■AC-LM1901

単3形乾電池2本使用

※日本国内の標準時刻電波

電波クロック

取扱説明書

本製品をお求め頂きました誠にありがとうございます。

注意

- ・正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
- ・お読みになった後は、必要となったときいつでもご覧になれるように必ず保管してください。
- ・『お取扱上の注意』も必ずよくお読みください。

商品の特徴

- ・本製品は正確な時刻と日付情報をのせた標準時刻電波を受信して、自動的に現時刻を表示する電波時計です。
- ・電波の受信できない場所では、クォーツ時計として作動します。
- ・自動受信機能により、1日3回(午前1,2,3時)自動時刻修正を行い、40kHz/60kHzどちらかの受信状況の良い周波数の電波を選択して受信します。

機能

- ・40kHz / 60kHz自動切替式、自動受信機能(1日3回 午前1, 2, 3時)
- ・強制受信機能 ・時計機能(時刻表示) ・12/24時間表示切替機能
- ・カレンダー表示(日付・曜日) ・温度計測機能

ご使用方法

■電波受信について■

- ◎裏面を電波送信所のある方向に向けて置くと、最も電波を受信しやすくなります。(受信マークの強の状態状態で置いて下さい。)
- ～標準電波送信所の位置～
- ・福島県田村郡 おおたかや山…40kHz
- ・福岡県と佐賀県の県境 はがね山…60kHz

◎次のような状況では、受信が難しい場合があります。

- ・鉄筋/鉄骨の建物の中、およびその周辺 ・ビル等の地下
- ・車、電車、飛行機等の乗り物の中
- ・高圧線、架線の近く
- ・磁気を発するテレビ等の家電製品や、パソコン等のOA機器の近く
- ・電波障害の起きやすい場所(建築現場、空港、交通量の多い道路付近等)
- ・金属板の上や山等の電波を遮断する場所
- ・金属製の雨戸やブラインドの近く・雨天時

※このような場合は、受信条件の良い場所に移動すれば、通常の機能にもどり、正しい時刻セットを行うようになります。しかし再度受信が困難な環境下にてご使用する場合は、内臓クォーツの精度で作動することになります。

- ・電波受信中は時計を動かさなくてください。(受信中に時計を動かすと、受信能力が低下します)
- ・極端に高温や低温のところでは受信能力が低下します。
- ・気象条件、地形、時間帯により、受信能力が制限されることがあります。
- ・受信動作、確認動作を頻繁に行くと電池が消耗します。

■自動受信について■

自動受信は1日3回、午前1, 2, 3時に受信機能が働きを行います。

※ただし日に1回自動受信に成功した場合は、その日の自動受信は行われません。

各部の名称

※図は説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。

【画面の見方】

■通常画面

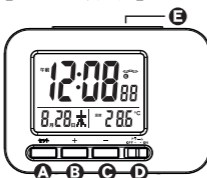


■アラーム設定画面



ご使用方法

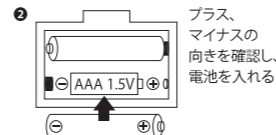
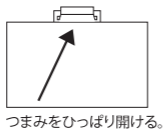
【ボタンの使い方】



- A セットボタン：通常画面とアラーム設定画面の切り替え、時刻修正とアラームの時刻設定時に使用
- B + ボタン：時刻を合わせる、12 時間 /24 時間切り替え
- C - ボタン：時刻を合わせる、電波受信
- D アラームスイッチ：アラームの ON/OFF
- E スヌーズボタン：スヌーズ機能を起動時に使用

【電池の入れ方】

■裏面



時刻の合わせ方

◆強制受信による時刻修正

- ①-ボタンを2秒以上押し続けてください。
- ②受信マークが点滅し、受信が始まります。
- ③電波状況によって違いますが、5～16分で受信完了します。

◆自動受信による時刻修正

1日1回標準電波の時刻修正を自動的にを行い、時刻の修正を行います。

◆手動による時刻修正

- ①セットボタンを2秒以上押し続けてください。
- ②+/-ボタンで時刻を合わせます。
- ③セットボタンを再び押し、「時」、「分」、「秒」、「年」、「月」、「日」の順番で変わっていきます。
- ④月日の設定が完了したら、再びセットボタンを押して終了します。

※+ ボタンで12時間/24時間の切り替えを行います。

アラームの設定

◆アラームの時計設定

- ①セットボタンを押し、アラーム画面に切り替えてください。
- ②セットボタンを2秒以上押し続ける。「時」が点滅し始めます。
- ③+/-ボタンで時刻を合わせます。
- ④セットボタンを押すと、「分」が点滅します。
- ⑤「分」の設定が完了したら、セットボタンを押して終了します。

◆アラームのON / OFF 設定

- ・スイッチを左右にスライドして、ON・OFFを切り替えてください。
- ・アラームはスヌーズボタン以外を押すと、音が止まります。
- ・スヌーズボタンを押すと、アラームは再び5分後になり始めます。

温度計精度について

温度計測機能：適正計測範囲 -10℃～40℃
計測精度 ±2℃

～温度の表示について～

温度の表示は内蔵されたセンサーにより、時計内部の温度を表示するものです。その為に急激な温度変化が生じた場合、適正な温度表示をするまで1分以上かかる場合があります。

※温度表示は10℃未満、40.1℃以上でも温度表示をしますが、本製品の保証外となります。

こんなときは

- 電池を入れた後、14分以上たっても正しい時刻を表示しない場合。
 - ◎電波受信の状態が不調ですので、本体表示部分から裏面を送信所に向けて窓の近くに置いたり、テレビ・家電機器などから離れた場所(約2m程)等で電池を約1分間外した後、再セットして一昼夜様子を見てください。
- 時刻信号をキャッチし、液晶表示が正常な動きをしているにもかかわらず、現時刻とちがった表示をしている場合。
 - ◎雷雨等の自然現象や、その他の電波障害により誤った電波信号をキャッチする場合があります。場所を変えて、強制受信をしてください。
※電池寿命を迎えている可能性もあります。
- 時計を海外で使用する場合
 - ◎標準時刻電波は、国によって周波数、時刻信号の内容が異なりますので、電波時計としては使用できません。
 - ◎電池の(+)(-)が間違えてセットされている場合があります。再度ご確認ください。
 - ◎電池が寿命を迎えている可能性があります。新しい電池に替えて、入れ直してください。
- 時刻が表示されない、または薄く表示されている場合
 - ◎電池の(+)(-)が間違えてセットされている場合があります。再度ご確認ください。
 - ◎電池が寿命を迎えている可能性があります。新しい電池に替えて、入れ直してください。

※液晶画面は見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは液晶ディスプレイの構造によるものです。

- 受信環境の良い場所が見つからないが、すぐに時計を使用したい場合(受信をさせても受信マークが点灯しない場合)
 - ◎手動で時刻を合わせたあと、受信環境が良いと思われる場所に置いてください。自動受信機能によって受信を行いますので、受信環境が良くなれば標準時刻電波をキャッチして、正しい時刻が表示されます。

※受信環境は時刻、周辺の状況、天候により変化します。

お取扱上の注意

- ◎デジタル表示が薄くなったら、電池を交換してください。
- ◎床面に落下する等、強い衝撃は故障の原因となりますのでご注意ください。
- ◎火気がある場所で使用したり、近付けたりしないでください。
- ◎時計を長時間使用しない時は、電池を外して保管してください。
寿命の切れた電池を長時間入れたまま放置しますと、漏液により内部機械部品が損傷する場合がありますのでご注意ください。
- ◎本製品は防水加工をされていませんので、水中でのご使用や、水に触れるご使用は避けてください。(水分の侵入による故障は保証できません。)
- ◎分解しないでください。故障・ケガの原因となります。
- ◎直射日光の当たる場所、高温や低温等、極端に温度差のあるところでは、機能が低下したり停止したりすることがあります。また、常温(5℃～35℃)からはずれた温度で長時間放置しますと、電池が漏液したり、電池寿命が短くなったりすることがありますのでご注意ください。
- ◎磁石・磁気類(磁気健康器具・バッグの留め金等その他)に近づけると、故障や機能が低下する原因となりますのでご注意ください。
- ◎化学薬品類等に近づけたり、ガスの中でのご使用は避けてください。水銀またはシンナー、ベンジン等の各種溶剤、及びそれらを含むものが付着しますと、変色・溶解・ひび割れ・変質の恐れがあります。
- ◎充電式乾電池、オキシライド乾電池は使用しないでください。

注意 電池の取扱いの注意

- ◎誤飲の危険がありますので幼児の手の届かないところに置いてください。
- ◎電池を飲み込むと大変危険です。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- ◎万一、電池からもれた液が目に入った時はすぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。皮膚や服に着いた時は、水で洗ってください。